

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

本部セクター (センター)

IJAI 女性局と女現研の対応表  
(クラスター・スライド・システムによる  
実動調査部隊の編制)



女性現実研究所  
『女性現実物語』

まるで物語のような女性の現実に寄せて

初版：2004年1月23日

最終更新：2019年9月14日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様  
(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様  
(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

## 目次

- 1 岩崎純一最高代表の学術活動と女現研・『女性現実物語』との関係について
- 2 IJCA・IJCW と『女性現実物語』資料の統合について
  - (1) 統合の許可
  - (2) IJCA・IJCW と『女性現実物語』資料の著述・編纂方法の違い  
(女性の皆様の好みをめぐって)
- 3 置換・対応表 (読み替え表)
  - (1) 解説
  - (2) 資料アーカイブおよび組織に関する置換・対応表
  - (3) スタッフに関する置換・対応表
  - (4) ウェブサイトに関する置換・対応表
  - (5) 連携女性施設に関する置換・対応表

## 1 岩崎純一最高代表の学術活動と女現研・『女性現実物語』との関係について

※ 別掲の IJCW 第二巻「女性局および女性現実研究所について」をも参照せよ。

女性自助組織「女性現実研究所 (Women's Real-Life Research Laboratory, WRLRL、ウィルール)」とその女性資料アーカイブである『女性現実物語 (Women's Real-Life Tales, WRLT、ウィルト)』は、実のところ、その最高代表スタッフの男性である岩崎純一の総合学術活動の一部 (多くの女性による協力体制) として機能している組織およびアーカイブである。

基本事項から再確認すれば、岩崎の総合学術活動の通常の資料アーカイブとしての性質を「岩崎純一総合アーカイブ (IJCA)」、『岩崎純一全集 (IJCW)』といい、総合学術活動組織としての性質を岩崎純一学術研究所 (IJAI) という。このうち、女性スタッフたちが管理・編纂を担当する資料のアーカイブを「女性編纂別添資料アーカイブ (女性系)」といい、その女性スタッフ組織を女性局と呼んでいる。

この「女性編纂別添資料アーカイブ」の一部は、岩崎が「全面的に男性の手中にあることは社会通念上望ましくない」と判断し、岩崎から協力要請を受けた精鋭の女性スタッフたちが管理・編纂を担当する資料である。これらは実のところ、性被害・性依存・性症状などを抱える女性の方々から提供・委託された秘密資料 (自治体、児童相談所、警察、学校、医師などから突き返された資料も含まれる) であり、これこそが「女性資料アーカイブ『女性現実物語』」である。そして、女性局の秘密部局としての名称こそが女性自助組織「女性現実研究所」である。

従って、女性編纂別添資料・女性局と『女性現実物語』・女現研とは、性的内容に限れば、ほぼ名称が異なるのみの同一資料・組織であると見ても差し支えない。

女性局が女現研として機能する際は、複数の女性を共同代表 (セクターリーダー) とし、岩崎式十進分類法 (IJDC) の女性局 (長)、女性部 (長)、女性班 (長) などがそのまま女現研のセクター (リーダー)、グループ (リーダー)、コホート (リーダー) など、すなわち各クラスター (のリーダー) ヘスライドして、実動調査部隊 (ウォッチャー) として機能する即応体制 (クラスター・スライド・システム) をとっている。岩崎は、女現研内では最高代表など別の名称で呼ばれる。

少なくとも岩崎の生存中は、IJAI 所長は女性局長・女現研最高代表を兼ねるものであり、岩崎がこれらの地位にある。このことは、多くの女性スタッフの意見に基づくものでもあり、岩崎が女現研・『女性現実物語』の活動の大部分の絶対的権限を有することとなっている。しかしながら、いずれはそれでは済まなくなるのであり、岩崎は現在、後継者となる女性スタッフを育てている。女現研・『女性現実物語』の活動が継続するためには、後継者女性が「余人をもって替えがたい女現研・『女性現実物語』の理解者女性」であることは必須条件である。

女現研・『女性現実物語』としての活動（サイト運営を含む）においては、これが IJAI の一組織（ないし、ほぼその内部に併存する女性組織である女性局そのもの）であることを、これまでは（岩崎ほか代表スタッフの意向で）公表していなかった。

これは第一に、私たち女現研が IJAI の組織であることが知られたり、あるいは、多くの性被害女性たちと交流してきた岩崎ほかの代表スタッフ、幹部女性スタッフの氏名などが加害者に知られたりした場合、性被害女性などの氏名・身元を加害者に割り出されるおそれがあり、これを阻止するためである。

第二には、女現研の活動の意義を認めない立場の関係者（極左フェミニズム団体や極右ナショナリズム団体）が発信する風評被害によって、代表スタッフや幹部女性スタッフ、一般女性スタッフ、ひいては性被害女性などの仕事や生活に支障が生じないようにするためである。

現在は、これらの安全性を確保できる目処が立った上、IJAI と女現研の共同活動を公表することは世の多くの女性にとって明らかに有用であるため、公表するに至った。

女現研の組織編成と『女性現実物語』の資料分類は、IJAI 独自の十進分類法である IJDC をほぼ踏襲する。但しこれまでは、女現研・『女性現実物語』が IJAI、IJCA、IJCW の女性秘密組織・資料であることが直ちに知られないよう、女性局・女性編纂別添資料アーカイブで使用している IJDC 用語（呼称）とは異なる用語（特に英語の呼称）を使用していた。現在は、英語呼称は IJDC 全般で用いる。

IJAI の本局用語・本体資料から女性局・女性資料用語に置換する（読み替える）際は、主に各用語に「女性」の二文字を単に入れるのみであるが、IJAI の本局用語・本体資料ないし女性局・女性資料用語からの女現研・『女性現実物語』用語への置換（読み替え）は、特殊であるから、注意されたい。

下方に、相互の置換・対応表（読み替え表）を掲げる。相互に対応している用語の解説資料の巻数も、相互に対応している。本局資料の序巻～第五巻の各表も参照されたい。

## 2 IJCA・IJCW と『女性現実物語』資料の統合について

### (1) 統合の許可

IJAI 所長、女性局長、女現研最高代表である岩崎純一は、IJAI の共同編纂者、特定女性スタッフ（女現研代表・幹部女性スタッフを含む）が IJCA・IJCW と『女性現実物語』の統合を行うことを許可する。但し、その統合作業は、IJCW 第六巻に基づかなければならない。

### (2) IJCA・IJCW と『女性現実物語』資料の著述・編纂方法の違い

### (女性の皆様の好みをめぐって)

『女性現実物語』の資料は、IJCA・IJCWの資料(女性局の公開資料を含む)と著述・編纂方法が異なる点が多々ある。しかし、相違点は、編纂を担当する多くの女性の皆様の好みにより多くの本文を明朝体でなく丸ゴシック体としてあるなど、書式に関わるものであって、前述の統合作業の際に重大な障壁となる相違ではない。何よりこれらの全資料は、既にIJDCによって理路整然と分類されているのであるから、統合作業において解決困難な問題は生じないであろうと予想する。

但し、統合の際には、本文を明朝体に統一するなど、IJCA・IJCWの本体資料の書式に統一しなければならない。現時点で『女性現実物語』資料が丸ゴシック体であるのは、多くの女性スタッフの好みと意見を容認しているからであって、最終的にIJCA・IJCWの全資料を明朝体で統一することは、岩崎の極めて強い希望である。また、横文字の少ない資料については、可能な限り縦書きで統一することも、岩崎の極めて強い希望である。編纂者皆の目に留まるよう、ここに記す。

## 3 置換・対応表(読み替え表)

### (1) 解説

女性局の資料も『女性現実物語』の資料も「女性資料」と呼んで差し支えないが、前者の女性資料のみ、公表される際にはIJCA用語で「女性編纂別添資料」とされることが多い。一方、『女性現実物語』ではこれまで、前述の通り、同組織がIJAIの組織であることを直ちに知られないようにするため、IJCA用語である「女性編纂別添資料」の使用は避けられ、単に「女性資料」と呼ばれていたが、現在はこの限りではない。

(この段落の内容は適用済。)2018年11月8日現在、本局アーカイブの「系」、「群」の別称として、それぞれ「域」、「環」を設ける提案がある。これらも、昨今大学に見られる「学域」、「学環」、および生物分類の最上位である「域(ドメイン)」の名称を参照した案だが、IJDCにおける意味と運用方法はやはり異なることになる。

(2) 資料アーカイブおよび組織に関する置換・対応表

IJDC	女性現実研究所		
	クラスター番号	女子結合体の単位 (部門)	活動拠点の単位 (建物など)
IJAI・IJCA・IJCW	0 (X)	ラボラトリー	
系	1 (A)	セクター	センター (ホール)
群	2 (B)	グループ (コース)	リージョン
類	3 (C)	コホート (タイプ)	ゾーン
綱	4 (D)	セグメント	エリア
目	5 (E)	ディヴィジョン	フィールド
座	6 (F)	セクション	ブロック
標	7 (G)	クラス	カテゴリ
軸	8 (H)	チーム	ジャンル
型	9 (I)	ユニット	スペース
式	10 (J)	パート	サイド
	11 (K)	ペア	コーナー
	12 (L)	ソロ	スポット

(3) スタッフに関する置換・対応表

IJAI としての名称	IJAI 女性局としての名称	女現研・『女性現実物語』としての名称
所長 (岩崎)	女性局長 (総称として。岩崎が兼任)	最高代表 (岩崎が兼任)
局長	女性局長	セクターリーダー (代表スタッフ)
部長 (本部は室長)	女性部長 (本部は女性室長)	グループリーダー (代表スタッフ。本部はコースリーダー)
班長	女性班長	コホートリーダー (代表スタッフ)
係長	女性係長	セグメントリーダー (代表スタッフ)

以下同様	以下同様	以下同様
所員	特定女性スタッフ (第一次～第四次区分)	幹部女性スタッフ (第一次～第四次区分)
協力者、参加者 (上記の所員以外)	協力者女性、参加者女性	一般女性スタッフ (以下の二者に分かれる。) 社会人女性・主婦スタッフ 女子大学生・女子高校生スタッフ
協力要請者 (上記の協力者、参加者以外)	協力要請女性	依頼女性 (下記の相談女性などのうち、特に性被害調査などを本部スタッフに依頼した女性をいう。)
利用者、情報提供者、相談者 (上記の協力要請者以外)	利用女性、情報提供女性、相談女性	相談女性、投稿女性、情報提供女性

(4) ウェブサイトに関する置換・対応表

IJAI ウェブサイトのディレクトリ階層の URL	女現研・『女性現実物語』ウェブサイトのディレクトリ階層の URL
iwasakijunichi.net/* iwasakijunichi.net/women/* (女性局)	women.jpn.org/* (IJAI 本サイトの構造に一致)

(5) 連携女性施設に関する置換・対応表

IJAI および女性局としての用語	女現研・『女性現実物語』としての名称
女性寮、女子寮、女性シェアハウス、シェアハウス型女性 (専用) 寮など (但し、厳密な使い分けはなし)	女子寮、連携女子寮、連携女性施設など (但し、厳密な使い分けはなし)
コンフィデンシャル・レディース東京 (現在は、一部のみに記載)	女性の性被害、性依存、性症状研究会 日本 PSAS 協会 (一部の女性スタッフが追放処分となり、研究会と協会を女現研が引き継いだ。)
非公表 (女性施設 A と記載)	同左

女性現実研究所 (Women's Real-Life Research Laboratory、WRLRL、ウィルール)

非公表 (女性施設 B と記載)	同左
非公表 (女性施設 C と記載)	同左
非公表 (女性施設 D と記載)	同左